

第二段階の統合場所を検討するに当たっての評価表（委員提出分）

次の表は、委員から事前に提出された意見を記載したものである。

| 意見等提出者 | 案1 幸町第一小学校 | | 案2 幸町第二小学校 | | 案3 幸町第四小学校 | |
|--|---------------|--|---------------|---|---------------|---|
| | 評価 | 理由・意見 | 評価 | 理由・意見 | 評価 | 理由・意見 |
| A委員 | × | 環境：公道に面していない。 | ○ | 環境：公道（市道）に面している | × | 環境：公道に面していない。 |
| B委員 | ○ | 一丁目の最も東にある公共施設 | × | 不審者の出没が多くその対策がなされていない。 | ○ | 隣接する一中にヘリポートがある。 |
| | | | × | 夕方は学校の周辺が暗く感じる。 | ○ | 病院、商業施設、公共施設が近い。 塀がないので見通しが良い。 |
| C委員 | | 地域的に見て望ましい。 | ○ | 子どもルームが新しい。 | | 位置的には中央にあり、通学しやすい。 |
| | | 児童数が多く公正である。 | | 校舎が整備されている。 | | 増改築を含め、校舎の大幅な改修、新校舎の建設を要望。 |
| | | 3校統合は少し伸びるが、一小でも居ながら施工は可能→引越しの回数が減らせる。 | | 不審者情報多い。 | | グラウンドの整備要望。 |
| | | 一小がなくなると一小区域が空洞化 | | 二小側には三小もあり、隣接し片寄りがある。 | | |
| | | 最初に出来た学校であり残すべき | | | | |
| | 避難場所の確保 | | | | | |
| | つばさ学級が存在する。 | | | | | |
| D委員 | 2 | <p>第四小が全く不可能な場合は第一小を希望する。</p> <p>○第四小に動線が近いことが一番の理由。</p> <p>○特別支援教室についても、地域から通っている子ども達であり通学の負担を考え第二希望にした。</p> <p>○（以前委員をしていたときに配布されたと記憶している資料から）通学距離が第一小の一番通学距離の遠い児童が第二小の通った場合とその反対では、第一小に第二小の児童が通った場合の方が負担が少ない。</p> | 3 | <p>第三小の仮校舎であったことも含め、数回の修繕工事がなされており新しい学校の候補としては一番費用が少なく済む。通級児童の登校口や道路側で利便性はあるが地域外の人の出入りがしやすい分不審者の侵入も多いことから安全面で不安に思う。</p> | 1 | <p>地域の学校として学区から通う子ども達に目を向けて考えると、幸町二丁目という新しい学区の中心にある幸町第四小学校が一番望ましいと思う。</p> <p>○通学、学校生活の安全</p> <p>不審者に被害にあう時間が登下校時に多い。地域の人や動線や隣接している中学校への通学コースもほぼ同じになることから、たくさんの人の目に守られていると思う。</p> <p>フェンスのない学校に入学当時は不安を持ったが、職員室から校庭が一望できることと地域の人々の目が守ってくれており不審者進入が少ない。未就学児童が校庭内に自転車であつて入ったときもいち早く教職員が対応してくれた。</p> <p>○通学距離</p> <p>3つの候補地の中で新しい学区の中心にあり、第一小・第二小にとって通学距離への負担は平等になる</p> |
| ※第一希望の第四小とならなかった場合には、できる限り地域住民（大人による）の第四小の空き校舎や体育館の利用促進をしてほしい。校舎の荒れや不審者の溜まり場にならないよう管理をしてほしい。 | | | | | | |
| E委員 | 2 | <p>○27年度以降の統合となるが、暫定統合校となっているため、居ながら施工ができ、引越し回数が減り、子どもたちの負担が少なくなる。</p> <p>○幸町第四小の希望が通らなければ、統合校とする。幸町の小学校は一丁目に第三小が残るので、二丁目の学校の場所がバランス的に片寄ってしまうと、地域としては困る。</p> | 3 | <p>○ピオトープが設置されているが、管理が不十分で、この周辺より変質者が出没など、被害が見られ、別棟裏（幼稚園側）は、木が高く茂っているために暗く、安全面で不安がある。</p> | 1 | <p>○幸町の中心にあり、通学距離の負担も少ない。</p> <p>○URと学校用地としての協議ができる。</p> <p>○体育館の耐震工事は終わっている。</p> <p>○希望が通らなければ、何らかの形で残してほしい。</p> |